

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 ピルビン酸メチル  
会社名 株式会社武蔵野化学研究所  
本社 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号  
担当部門 品質保証室  
連絡先 電話：03-6810-0241 FAX：03-6810-0146  
整理番号 P O 2 - 0 1

### 2. 危険有害性の要約

G H S 分類  
引火性液体 区分3  
G H S ラベル  
絵表示



注意喚起語 警告  
危険有害性情報  
引火性液体及び蒸気  
注意書き  
安全対策

熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地すること／アースをとること。  
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器等を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

#### 応急措置

皮膚（又は髪）に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
火災の場合、適切な消火方法をとること。

#### 保管（貯蔵）

換気の良いところに保管すること。涼しいところにおくこと。

#### 廃棄

内容物／容器を適切な廃棄方法によって廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 単一製品  
化学名または一般名 ピルビン酸メチル  
別名 2-オキシプロパン酸メチル  
成分及び含有量 ピルビン酸メチル 98.0%以上  
化学特性（構造式）  $\text{C H}_3 - \text{C} - \text{C O O C H}_3$



官報公示整理番号 (2)-1505（化審法）  
C A S No. 600-22-6  
T S C A 登録無し  
E I N E C S 2099874  
輸出統計品目 2918.30-000  
輸入統計品目 2918.30-200

4. 応急措置	
皮膚に付着した場合	製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。
眼に入った場合	清浄な水で最低 15 分間目を洗浄したのち直ちに医師の手当を受ける。コンタクトレンズを使用している場合は、直ちにはずす。
吸入した場合	すみやかに空気の新鮮な場所へ出る。呼吸困難の場合には、酸素吸入を行う。呼吸していない場合には、人工呼吸を行う。
誤飲した場合	多量の水、または食塩水を飲ませて、すみやかに医師の手当を受ける。
5. 火災時の措置	
消火剤	粉末(ABC)消火器、泡消火器
特定の消火方法	火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。また、延焼の恐れのないように、水スプレーで周辺のタンク、建物等を冷却する。消火作業は風上から行い、場合によっては呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項	化学用保護メガネ、ゴム長靴、保護手袋を着用する。作業の際は、風下の人を待避させる。漏洩した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。風下で作業をしない。
環境に対する注意事項	生分解性があり、魚毒性も低いと考えられる。ただし、濃厚な液が河川等に排出されないように注意する。
除去方法	少量の場合は、土砂等で吸着させて空容器に回収し、その後を多量の水で洗い流す。大量の場合は、漏洩した液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導いた後、できるだけ空容器に回収する。その後は多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものをすみやかに取り除く。消火用機材を準備する。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	火気、静電気、火花などの、着火源が生じないように注意する。
注意事項	保管の際には、上記の他、直射日光を避け、密閉し、高温物を近づけない。保管場所で使用する電気機器は防爆構造とし、機器類はすべて接地する。
安全取扱い注意事項	漏洩の防止に留意する。接触、吸入の防止のための保護具を着用する。
保管	
適切な保管条件	遮光した気密容器にて、常温で保管する。
安全な容器包装材料	ポリエチレン等の樹脂系、又はステンレス鋼
8. ばく露防止及び保護措置	
設備対策	取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	保護メガネ、ビニル手袋を着用し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状态	
性状	黄色澄明な液体で、特異なにおいがある。
物理的状态が変化する特定の温度	
沸点	134～137℃（大気圧）
引火点	49.0℃（タグ密閉式）
爆発特性	
爆発限界(200℃)	下限：2.6vol% 上限：29.0vol%
蒸気圧	0.50 kPa（20℃） 0.96 kPa（30℃）

蒸発速度	0.422 (酢酸ブチル=1)
燃焼熱	18,400J/g
比重	$d_{20}^{20}$ 1.100~1.120
溶解性	
溶媒に対する溶解性	エタノール、トルエンに可溶

#### 10. 安定性及び反応性

安定性	通常の実験条件では安定である。
反応性	酸、アルカリと反応し加水分解することがある。
避けるべき条件	裸火、過熱、日光
混触危険物質	強アルカリ
危険有害な分解生成物	一酸化炭素

#### 11. 有害性情報

急性毒性	LD <sub>50</sub> 5000 mg 以上/kg (ラット♂ 経口)
	LD <sub>50</sub> 4931 mg/kg (ラット♀ 経口)
局所効果	データ無し

#### 12. 環境影響情報

残留性/分解性	分解性良好
COD(Mn)	0.46 g/g
BOD	0.98 g/g

#### 13. 廃棄上の注意

- 廃棄する場合は焼却によって行い、方法は次のいずれかによる。
- ・ ケイソウ土等に吸収させて、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却する。
  - ・ 焼却炉の火室へ噴霧し、焼却する。

#### 14. 輸送上の注意

国際規制	特に無し
国連分類	クラス 3.3 (高引火点引火性液体)
	容器等級 III
国連番号	1993
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 車両等によって運搬する場合は、荷送人は運送人に運送注意書きを交付する。</li> <li>・ 運搬に際しては、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。</li> </ul>

#### 15. 適用法令

消防法	危険物 第四類 第二石油類 (非水溶性)
安衛法	危険物 (施行令別表第一 引火性)
船舶安全法	危告示 別表第5 (引火性液体類 容器等級3)
航空法	施行規則 第194条 (危険物 引火性液体)
港則法	施行規則 第12条 (危険物 引火性液体類)

#### 16. その他の情報

##### 【引用・参考文献】

- 1) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II; Robert E. Lenga
- 2) 危険物防災救急要覧 神戸海難防止研究会・編 成山堂
- 3) 社内資料

##### 【問い合わせ先】

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記載内容の問い合わせ先</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運送中の問い合わせ先</li> </ul> |
| 株式会社武蔵野化学研究所  | 株式会社武蔵野化学研究所   |
| 営業本部 業務部  | 磯原工場 業務部   |
| 電話番号 03-6810-0242   | 電話番号 0293-42-1147(代)   |
| FAX 番号 03-6810-0148   | FAX 番号 0293-42-1185  |

当データシートは、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は、通常 of 取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、充分ご注意ください。